

令和7年度 第50回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 準1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は幼児の造形表現について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 造形表現は、描画材や身近にある（ ）を使って、目で見えて分かるように表現することである。
- (2) 造形活動のねらいは、感じたことや考えたことを（ ）して表現させるところにある。
- (3) 造形活動の評価の際は、結果としての作品だけでなくその（ ）を重視する。

ア 過程 イ 自由 ウ 模倣 エ 素材 オ 工夫

2 描画の発達過程と特徴について、(1)・(2)に最も関係の深いものをA群・B群から1つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) なぐりがき期 (2) 前図式期

[A群]

- ア 描いたものに名前をつける。
 イ 展開画と呼ばれる幼児特有の表現がみられる。
 ウ 思いのままの自由な手の動きで点を打ち、音を楽しむ。
 エ アニミズムの傾向があるため太陽や花に目や口を描く。

[B群]

- ア 頭足人 イ スクリブル ウ レントゲン画 エ 命名期

3 次の文を読んで、正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 色は有彩色と無彩色に大別される。
- (2) 色の鮮やかさの度合いを明度という。
- (3) 赤と黄は補色関係にある。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2				3		
	(1)	(2)	(3)	(1)		(2)		(1)	(2)	(3)
				A群	B群	A群	B群			
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和7年度 第49回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 準1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は幼児の造形表現について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

幼児の造形表現は（ 1 ）したことや想像したことを、絵に描いたり、ものを作ったりすることである。3歳を過ぎる頃からは自らの意志がはたらいて、（ 2 ）的な造形に興味を持ち始め、自分の（ 3 ）を表す表現活動に変わってくる。

ア 伝達 イ 体験 ウ 思い エ 用具 オ 構成

2 次の文を読んで、正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 幼児の発達過程は、なぐりがき期→図式期→前図式期→象徴期である。
- (2) 象徴期は描いたものに名前をつけたり、説明を加えたりするので、意味づけ期ともいわれる。
- (3) 前図式期では、太陽や花に目や口を描くレントゲン画とよばれる幼児特有の表現が見られる。
- (4) なぐりがきのことをぬたくりやスクリブルともいう。

3 次の文は色彩について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 有彩色は、（ ）・明度・彩度の3つの属性を持っている。
- (2) 純色に黒だけを混ぜた色を（ ）という。
- (3) 光の三原色は赤・緑・（ ）である。

ア 青 イ 黄 ウ 色相 エ 清色 オ 濁色

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2				3		
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和6年度 第48回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は幼児の造形表現の特徴について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 造形表現は、() な自己表現である。
 (2) 造形表現は、伝達のための表現であり、欲求や() のはけ口である。
 (3) 造形表現は、自分の思いが() の手によって達成される喜びが味わえる活動である。

ア 探索心 イ 自分 ウ 大人 エ 感情 オ 自発的

2 次の文は前図式期について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

同じ画面に次々と描くので(1)とも呼ばれる。人物表現なども知っていることを描き、目・手・足など(2)に表現する。頭から手や足が出ている(3)を描いたり、太陽や花に目や口を描く(4)もこの時期に見られる。

ア 意味づけ期 イ 左右対称 ウ アニミズム表現 エ 頭足人
 オ レントゲン画 カ カタログ期

3 次の文を読んで、正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 明清色とは、純色に灰色を混ぜた色である。
 (2) 色相環とは、似た色同士順序良く輪に並べたものである。
 (3) 赤、黄、白、青は有彩色である。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2				3		
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------



令和6年度 第47回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文を読んで、正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 感性とは、価値あるものに気づき、感じることである。
- (2) 造形表現は、自己目的を持ち、自分の力で達成することができるので、充実した活動となる。
- (3) 幼児の造形作品の見方は、できあがった作品の形や色などが美しく、子供らしさが十分うかがえるかだけを見る。
- (4) 造形遊びの活動は、遊ぶことが活動の目標で、遊びを通して造形的な体験をさせるようにする。

2 次の文は幼児の描画の発達過程について述べたものである。(1)～(3)に最も関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 描いたものに名前をつけ、意味づけをする時期。
- (2) トントンと点を打つときに出る音や、偶発的な左右の手の動きで画面にできる線を楽しむ時期。
- (3) レントゲン画や展開画と呼ばれる幼児特有の表現がみられる時期。

ア 図式期 イ 前図式期 ウ なぐりがき期 エ 象徴期

3 次の文は色彩について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 赤、黄、緑など、色みのことを（ ）という。
- (2) 色相環の真向かいの位置にある色を（ ）という。
- (3) 明度と彩度が組み合わされた色の雰囲気のことを（ ）という。

ア トーン イ 純色 ウ 色相 エ 補色 オ アクセント

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2			3		
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------



令和5年度 第46回 全国高等学校家庭科保育技術検定
造形表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は幼児の造形活動のねらいについて述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

幼児の造形活動は、「感じる・考える・（ 1 ）」という行為を多く含んでおり、表現力や（ 2 ）などを伸ばす働きがある。また、結果の良し悪しよりも表現する（ 3 ）が重要である。

ア 創造性 イ 成果 ウ 過程 エ 行動する

2 次の文を読んで、正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 幼児の描画の発達過程は、なぐりがき期→前図式期→象徴期→図式期である。
- (2) 前図式期は描いたものに名前をつけるので、命名期とも言われる。
- (3) 1歳ころになると、アニミズムの傾向があるため、太陽や花に目や口を描く。
- (4) 図式期にはレントゲン画や展開画とよばれる幼児特有の表現が見られる。

3 次の文は色彩について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 純色に白または黒を混ぜた色を（ 1 ）という。
- (2) （ 2 ）の関係にある色同士を並べるとお互い強く引き立たせ合う。
- (3) 画面上で色を塗り重ねることを（ 3 ）という。

ア 清色 イ 重色 ウ 濁色 エ 補色

解 答 欄

		学年				受検番号				名前			
問 題	1			2				3					
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)			
解 答													
得 点													
						合計点				合 ・ 否			



令和5年度 第45回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 次の文は幼児の造形活動の特徴について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

造形表現は、興味や（ 1 ）を持って（ 2 ）に取り組める活動である。また、やってみないとわからないことにおもしろさがあり、本能的な（ 3 ）や好奇心を満足させてくれる。

ア 意欲的 イ 創作的 ウ 関心 エ 探索心

- 2 次の表は描画の発達過程について示したものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

名称	別名	特徴
（ 1 ）期	カタログ期	頭足人 （ 2 ）表現
図式期	（ 3 ）期	（ 4 ） レントゲン画

ア アニミズム イ 覚えがき ウ 象徴 エ 基底線 オ 前図式

- 3 次の文を読んで、正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- 無彩色は色の三属性のうち彩度だけしか持っていない。
- 色の三原色は一般的に赤・青・黄である。
- 色を段階的に変化させる配色方法をトーンという。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2				3		
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和4年度 第44回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は幼児の造形表現活動の特徴について述べたものである。空欄に最も適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

(1) 幼児の造形表現は、自分の感情を表す (①) 活動から自分の思いを表す (②) 活動へと変わる。

(2) 子供の思いに共感し、() な態度で接することによって子供は自信を持つ。

ア 表現 イ 創作的 ウ 工夫 エ 受容的 オ 表出

2 次の文は幼児の描画表現の特徴について述べたものである。正しいものには○, 誤っているものには×印を記入しなさい。

(1) 図式期にはレントゲン画や展開画とよばれる幼児特有の表現がみられる。

(2) 2歳ころになると、空と地面との境界線を描き、その線の上に自分の思いを描く。

(3) 前図式期は描いたものに名前をつけるので、命名期ともいわれる。

3 次の文は色彩について述べたものである。空欄に最も適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

(1) 赤と青緑、() と青紫は補色関係にある。

ア 橙 イ 緑 ウ 黄

(2) 色立体とは、色相、(), 彩度を規則的に並べた三次元の立体のことである。

ア 純度 イ 明度 ウ トーン

(3) 色相環は各色相の() によって表される。

ア 純色 イ 清色 ウ 有彩色

(4) 純色に黒だけを混ぜた色を() という。

ア 混色 イ 暗清色 ウ 濁色

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2			3			
	(1)		(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)
	①	②								
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------



令和4年度 第43回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は幼児の造形表現の特徴について述べたものである。空欄に最も適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

(1) 幼児の造形には、(①), けずる、掘るなどの破碎的・破壊的な活動と、並べる、(②), 積むなどの構成的な活動がある。

(2) 造形表現は自由で (①) な活動である。また伝達のための表現であり、感情や (②) のはけ口である。

ア 自発的 イ 過程 ウ 気づき エ 切る オ 欲求 カ 組み合わせる

2 (1)から(3)の各時期に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

(1) 図式期 (2) 象徴期 (3) なぐりがき期

ア 自由に線を描き、形が残ることを楽しむ。

イ 自分で考えていることを次々に並べて描く。

ウ 空と地面との境界線を描き、その線の上に自分の思いを描くようになる。

エ 描いてから意味づけをする。

オ 目・手・足など左右対称に表現するようになり、頭足人を描く。

3 次の文は色彩について述べたものである。正しいものには○, 誤っているものには×印を記入しなさい。

(1) 虹の7色は一般的に赤・橙・黄・緑・青・藍・紫である。

(2) 補色関係にある2色を接して並べると、お互いの色の明度が高く見える。

(3) 色の三原色とは、一般的には赤・青・緑である。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2			3		
	(1)		(2)		(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
	①	②	①	②						
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------



令和3年度 第42回 全国高等学校家庭科保育技術検定
造形表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 次の文は幼児の造形活動の特徴について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 造形表現は、(①)や関心を持って(②)に取り組める活動である。
- (2) 幼児の造形活動は、「感じる・考える・(①)」という行為を多く含んでおり、表現力や(②)などを伸ばす働きがある。
- ア 意欲的 イ 興味 ウ 創造性 エ 伝える オ 行動する
- 2 次の文に最も関係の深いものを下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 描いた形に意味をつけるので、意味づけ期ともいう。
- (2) 形をしっかりととらえて絵らしくなり、レントゲン表現や展開表現など子ども特有の表現が見られる。
- (3) 描いた線は意味をもたず、手の運動によって描かれたものである。
- ア 前図式期 イ 象徴期 ウ 図式期 エ なぐりがき期
- 3 次の文は色彩について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) 光の三原色は赤・()・青である。
- (2) 他の色からは作ることができず、さまざまな色を作り出すもとになる色を()という。
- (3) 補色関係にある色どうしを混色すると()になる。
- ア 原色 イ 黄 ウ 無彩色 エ 緑 オ 濁色

解 答 欄

学年	受検番号				名前					
問 題	1				2			3		
	(1)		(2)		(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
	①	②	①	②						
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------



令和3年度 第41回 全国高等学校家庭科保育技術検定

造形表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 次の文は造形表現のねらいと評価について述べたものである。空欄に最も適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

造形活動のねらいは、表現活動を通して（ 1 ）を養うことがあげられ、その指導の際には子どもの発想を大切にして、子どもの（ 2 ）や欲求を生かすことが大切である。従って、造形活動の評価の際は、結果としての作品だけでなくその（ 3 ）を重視することが望ましい。

ア 感動 イ 構成 ウ 創造性 エ 過程

- 2 幼児の描画表現の特徴について、(1)～(4)の文が正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 象徴期には、円を描けるようになる。
- (2) 3歳頃になると、空と地面との境界線である基底線を描くようになる。
- (3) レントゲン画は前図式期に多く見られる。
- (4) 4歳半頃になると、アニミズムの傾向があるため太陽や花に目や口を描く。

- 3 次の文は色彩について述べたものである。(1)～(3)の空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 色の三原色は一般的に赤・青・（ ）である。
- (2) 純色に白だけを混ぜた色を（ ）という。
- (3) 赤・橙・緑・黄・青・紫はすべて（ ）である。

ア 緑 イ 明清色 ウ 色相環 エ 黄 オ 有彩色

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2				3		
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------